

## 大阪府 HIV 感染者等歯科診療連携体制構築事業における 協力歯科診療所のみなさまへ

### ○HIV 針刺し、切創、血液曝露発生時の対応マニュアル

\* 曝露事故発生後、直ちに行うこと

1. 曝露部位を大量の流水と石けん（眼球の場合は流水）で洗浄する  
（負傷部位から血液を絞りだそうとする試みや、曝露部位への消毒剤の使用などは、有効性が証明されていないうえに、PEP（曝露後予防内服 Post-Exposure Prophylaxis）開始までの貴重な時間を失うことになるため推奨されない。）
2. 速やかに責任者（紹介 HIV 拠点病院担当医）と連絡を取り、予防内服に関する指示を仰ぐ。  

大阪府歯科医師会
3. 責任者と連絡が取れない場合には、~~当会~~の用意した1回目の抗 HIV 剤（ツルバダ）の予防内服を事故者の判断で開始する。（開始して下さい。）

※事故者が責任者と連絡が取れない場合がある。

PEP においては曝露後可能な限り速やかに初回内服を開始することが重要であるため、リスクが高いと判断される場合には事故者の判断で PEP を開始してよい。PEP を開始した場合でも責任者と連絡をとるための努力は継続する。尚、治療の依頼があり、前もって患者情報が有る場合は紹介 HIV 拠点病院担当医と「針刺し等、事故後の早急な対応について」しっかりコミュニケーションとっておいてください。

## OTDF/FTC（ツルバダ）服用のための説明文書

以下、チェックリストに従い感染予防のための服薬についての説明文書を良く読み、服用の意義、注意点等について確認して下さい。

### □ 服用の意義

針刺し事故などでHIV 汚染血液に暴露された場合の感染のリスクは、最も高い場合でも0.3～0.5%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じ様な事故の場合の感染リスクに比べそれぞれ1/100～1/10と低いことは知られています。しかし、低いとはいえこの数字は感染リスクが0%ではなく、1000回の事故につき3～5人は感染するということを意味しています。しかも、今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されておられません。しかし一方、感染直後にAZTを服用することで感染のリスクを約80%低下させることが示されました。今回奨めている基本治療であればさらに効果的であると考えられます。予防服用により100%感染を防げるわけではありませんが、予防服用を強くすすめる理由はこのためです。服用の意義を理解し、次に進んで下さい。

### □ 服用に当たっての注意点

感染予防の効果をあげるためには、事故後できるだけ早くできれば1～2時間以内に予防薬を服用するのが望ましく、24～36時間以後では効果が減弱する可能性があります。このため専門家に相談できる前に自己判断で服用を開始せざるを得ない場合もあります。どうしても良いかわからない場合、妊娠の可能性がなければ、とりあえず第1回目の服用をする事をすすめます。

### □ 妊娠の可能性のある場合

大至急妊娠の有無を調べて下さい。今回の基本治療については、特に妊娠初期（最後に生理のあった日から114週間）の胎児に対する安全性は確立されておられません。妊婦の場合、責任医師と大至急服薬について相談して下さい。

## ○予防服用される抗HIV 薬TDF/FTC：ツルバダの注意点及び副作用

この薬剤は、1錠の剤型に2種類の薬剤がHIVの治療において、もっとも基本的な薬です。以下のような副作用があります。

### ○TDF

TDFは単独剤型ではビリアードという薬剤で販売されています。ツルバダはTDFとFTCの合剤です。合剤でも単独の場合でも、1日1回の服用で良く、食事とも無関係に内服可能です。副作用の少ない薬剤です。

### ○FTC

FTCは単独剤型ではエムトリバという薬剤で販売されています。ツルバダはTDFとFTCの合剤です。1日1回の服用で良く、副作用の少ない薬剤です。患者さんへの治療の場合にもTDFとの合剤（ツルバダ）で用いられます。

### ○副作用（下記「薬剤添付文書情報」相当部分参照）注意点

両剤とも抗B型肝炎ウイルス効果があります。しかし、B型肝炎患者がこの薬剤を半年以上服用した後の中止後、肝炎が悪化することがあり、その中で激症化し死亡した例もありました。従って、この薬剤を服用する前には、必ずB型肝炎の有無を確認することが必要です。B型肝炎患者の場合には、担当医師と相談してください。

他の問題はTDFによる腎障害の問題です。通常腎機能の方々では問題にはならないと考えられますが、既に腎機能低下が存在する場合には、TDFにより腎機能障害が出現する可能性があります。職業的暴露前に腎機能低下や糖尿病が考慮される場合には専門家と十分な相談が必要と考えられます。

チェックリストに従い感染予防のための服薬についての説明文書を読みました。予防服用の重要性を理解し、予防服用フローチャートに従い服薬を開始します。